

<週報No. 2,911> 3,022 回例会

2020年1月31日(金)

■会長／玉本 広人 ■幹事／山田 文雄

◆司会＝伊藤武利前SAA

◆ゲストビジター＝本日はいらっしゃいません。

◆出席報告＝なし

◆ラッキーナンバー＝なし

◆ニコニコボックス＝なし

◆会長告知・玉本広人会長＝皆さんこんにちは。新型コロナウイルスが猛威を振るっておりますが、様々な情報が飛びかかっており、特に中国では患者数から始まり予防法まで何が正しいのかわからない状態です。テレビでは、8000人弱の感染者と伝えていますが、一部の情報では、すでに中国での感染者は10万人を超えたという情報もあります。いずれにしても冷静に、できることをしていくしかありません。

さて今日で十二支の話は最後にしたいと思います。前回は丑までと戌亥を説明しましたので、残りの「卯」から「酉」までの意味をお話ししたいと思います。

「卯」ですが、「畏れ慎んで、お互いに助け合って、さらに新しく開発に従事する」という文字で、未開墾地の開拓を意味します。卯という字は本来「茆」で〈しげる〉〈かや〉です。開拓しなければならないところを放っておくと草だの萱だのいろいろの草木が生い茂る、その代表が茆です。「辰」は会意文字で、理想に向かって辛抱強く、かつ慎重に、いろいろの抵抗や妨害と闘いながら歩を進めてゆくという意味です。「卯」の未開墾地の開拓を受けて手で岩石を動かす象という説もあります。「巳」の意味は、春を迎えると啓蟄となり、地中で冬眠していた動物が外へ出てきます。今まで地中でじっとしていたものが頭をもたげて、外に出て活動を始める姿を象っています。地中で冬眠していた動物はたくさんありますが、その中で一番民衆にわかりやすいものは蛇でありこれを当てたとのことです。「午」は、杵の象形文字です。杵は古代邪悪を祓う道具に用いられました。この邪悪を祓い退ける祭儀は、悪霊に逆らって防御するので、午にはそむく、さからうという意味が生じました。「未」は枝葉の繁茂を表す。ところが枝葉が繁茂すると暗くなるから、未をくらいと読みます。日ヘンをつければ松平不昧公の

昧になります。「未」は、道理にくらくなく、聡明で、物欲などに心がくまされぬ、つまり不昧でなければならぬという教えとなります。松平不昧公は茶道で名高いですが、その「不昧流」の境地は、そういう繁茂した枝葉末節をはらい落として、生き生きとした生命を進展させるところにあるとのことです。「申」は示すヘンに申で神の字となり神の字の元の形です。電光の走る様をあらわした象形文字で、電光が斜めに屈伸して走ることから、申は伸びるという意味になります。「酉」は、酒を醸造する器の象形文字です。黍(きび)が成熟してから醸造することから、成る、老いる、飽きる等の意身があります。このように十二支は、生命の発生から順次変遷して、その終末・含蓄に至るまでの過程を表しており、干支は幹となる十干と組み合わせて六十の範疇にしたものです。時代を読む参考にしてみたいはいかがでしょうか。

今日は、タケヤさんにお世話になります。よろしくお願いいたします。

◆幹事報告・山田文雄幹事＝今日は久しぶりの会社訪問例会です。オーナーの藤森郁男さんには大変お世話になります。お手元のボールペンとお味噌は頂けるそうなのでどうも有難うございました。小口武男さんに米山功労者第9回の感謝状が届いています。次回2月7日例会は紛争解決月間で国際奉仕委員会の担当で諏訪国際交流協会を招いての卓話になります。

◆米山功労者感謝状・地区委員委嘱状セレモニー＝小口武男会員・米山功労者第9回マルチプル、北川和彦会員・第2600地区2020～2021年度会員増強委員会委員、玉本広人会員・第2600地区2020～2021年度ローターアクト委員会





◆クラブフォーラム：職業奉仕月間・タケヤ味噌 藤

森郁男会員＝古い様な会社ですが、この建物が建ったのが21世紀への変り目の2000年で、21世紀は環境の世紀と新聞にも出ていたため、それに合わせた建物づくりをしました。この建物にはヒーターもボイラーも一切なく、全部自然エネルギーで賄えるように考えました。有難いことに温泉が出るため、温泉熱を利用し、昼間は太陽光などで熱を取ることが出来ますが、夜は困ります。最低でも17～18℃は維持出来ますので、温室を造って、ハイビスカスが枯れるか枯れないかで判定しています。環境保護を目指して建築しました。八十二銀行元頭取の茅野さんは環境にも関心の強い方で、建物全部を説明した所、環境に配慮したという内容の感謝状を戴きました。2000年は私の還暦の年で、還暦とは生まれ変わるということも含めて造りました。風の通りが十文字に流れるように、分かる人が見たら分かるといった半分道楽で作ったような気がします。黙って一人でやりましたが、銀行から融資を受けたら、そんな所にお金を掛けて怒られると思い、自己資金のみで建てたところ、八十二銀行支店長からなんで銀行から借りないかと怒られ、説教をされたので、嫌になって借りた次第です。環境の世紀・環境をどう考えるかという中で自然エネルギーを使ったらど

こまで出来るかという中で、温泉というものに救われているわけです。ここを掘れば温泉はポコポコ出るので、昔からの井戸が幾つかあり、既得権利で使えるのですが、温泉の管が松の木を使ったもので、詰まってしまうのでこれを換えたいと市役所に相談した所、現状には手を付けず温泉を購入して下さいと言われてました。温泉はいくらでも出るが使えない、それで今は市役所の温泉を買いました。諏訪のエネルギー問題からは使わない方が良いと思っています。環境問題・エネルギー問題ではずいぶん苦労しましたが、エプソンには迷惑をかけていることが多かったのですが、温泉熱の熱交換効率が良いなどについて初めて褒められました。自然エネルギー利用の面では工夫がされています。当時としては走りの太陽電池パネルも補助金も降りることがあって貼ってあります。自然エネルギーの対応が今世紀の問題になるだろうと、半分実験みたいな所もある建物です。

当社は明治5年創業となっていますが、江戸時代は薪炭米穀商で、そのままずっと続けていたら、今はガソリンスタンドになっていたかも知れませんが、米穀商の方に行って、米から味噌に段々移行しました。明治初期にお役人さんが赴任して、お米を持って行くと味噌もと言われ、味噌を持って行ったことが始まりのようです。当時の大きな需要先は刑務所で、国道建設の作業員に使ったため、相当の味噌を食べたらしいです。米が統制品になったため、味噌に主体を移して現在まで続いて来ています。昭和4年が世界大恐慌の年で、この工場は昭和3年に第一号の蔵を作っています。味噌は景気に反映されないもので、戦前は味噌の需要があり、毎年新しい蔵を作ったりしていました。現在では味噌の需要がなかなか伸びないため苦労はしております。南松本駅の傍に工場があって、スーパーなどへの商品は松本工場で作っています。ここはややこしい味噌、幅の広い色々な味噌を製造しています。壁の賞状は、味噌の品評会で一等賞などを戴きましたが、広告に使うと出品資格を失うため、これは掛けとくだけの賞状ですが、一枚あればお宝になるので、味噌づくりの技術は疎かにせず、手を抜かないようやっている積りです。味噌が近年見直されてきています。が、味噌の塩分が血圧に関与することが最大のデメリットになっています。味噌汁の血圧への影響を調べた研究は殆どないため、女子大医学部2～300人の生徒に

味噌汁を飲んで血圧の変化をみる研究を行ったところ、血圧の上昇はほとんどなく下がる人が出てきたため、今では味噌の血圧への影響は心配ないとなっています。千何百年以上の味噌の歴史の過程で、知恵が働いて、悪い要素が修正されて、すごく合理的で日本人のご先祖様は頭が良いと思っています。1978年初のカナダ研修では、国の研究所で味噌の研究を一生懸命にやっていたのにビックリしました。味噌のことは何も知らないだろうから説明が必要と思ったら、欧米に比べて日本人に乳がんが少ないのは、味噌に抑制効果があるとの仮説から研究をしていました。現在では味噌のマイナス要因が消えつつあり、プラス面が浮かび上がってきていますので、自信を持ってお味噌を食べて戴けると有難いと思っています。



2月7日	金	クラブフォーラム・平和と紛争予防/紛争解決月間	担当：国際奉仕委員会
2月21日	金	クラブ協議会・上半期会計報告	担当：会計
2月28日	金	クラブ協議会・ガバナー補佐訪問・IMについて	担当：IM 実行委員会